

奈良エスペラント会
会誌

Kornumo

つのふり

N-ro 111
2023-02-26

作成：竹森

enhavo

- 1. 学習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 2. 次回学習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3. 今後の行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 4. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

奈良エスペラント会 奈良市西登美ヶ丘 7丁目 1-11 秋葉方
会費口座 ゆうちょ銀行 14580-11209501 ナラエス^oラントカイ

奈良エスペラント会の皆さん、こんにちは。La Movado が発行されましたので、会誌「Kornumo」と一緒に送付します。学習会に参加された方にはLa Movado 手渡ししていますので、会誌のみ送付します。

1. 学習会

日時：2月25日（土）14：30～

場所：西部公民館 5階 第3講座室

出席者：中西とし子さん、本田照美さん、田中郁さん、竹森浩俊
(学習会)

・本日は奈良・長谷川テル顕彰の会から依頼があった4月30日の記念碑の除幕式の案内状のエスペラント訳を中西さんが草案作成頂き、みんなで内容確認しました。

・Gerda malaperis Ĉapitro 14

Gerda は廃屋に閉じ込められていました！！

- ・今年のザメンホフ祭は奈良エスペラント会が幹事だと早とちりでした。大阪ロンド担当で、再来年が幹事でした。すいませんでした。但し奈良県文化会館は改修工事のため再来年も使用できないので会場探しが必要です。
- ・奈良エスペラント会の出し物は歌を歌う+αとなりました。候補の歌の1つとして長谷川テルの歌、「希望の鳩、ヴェルダマーヨ」があがっています。田中さんから「希望の鳩、ヴェルダマーヨ」の楽譜準備頂きました。次回から練習開始。

2. 次回学習会

日時：3月19日（日）10：30～

場所：奈良県文化会館 2階集会室 F

西部公民館はその日催し事があり全館使用できません。急遽、文化会館で部屋を取りました。場所間違えないようにお願いします。

- ・Gerda malaperis Ĉapitro 15を予習しておいて下さい。
- ・長谷川テルの歌、「希望の鳩、ヴェルダマーヨ」1番歌ってみます。

3. 今年の行事予定

各地で開催される行事等の情報をまとめました。太字が更新された情報です。

開催日	行事名	場所	内容
2023年 3/25(土)～3/26(日)	La 3a Vintra Lernejo	神戸市北区しあわせの村 Movado 参照	

2023 年 6/6(土)～6/7(日)	第 71 回 関西大会	姫路市イーグレひめじ	一般講演 能楽師、江崎欽次郎さん
2023 年 10 /21 (土), 22 (日)	第11回 日本大会	拠点会場：川崎市総合自治会館 (武蔵小杉駅下車)	大会テーマ： Kion < Esperanto> nun revas por la mondo? / <エスペラント> がいま夢見る世界は何か

4. その他

4.1 ワン・ワールド・フェスティバル (2月4日、5日)

・参加された皆さんご苦労様でした。福田誠さんが中心となって展示の準備・説明・後片付けを行いました。参加された方は順序不同で、神戸ロンドから木元さん、大阪の佐々さん、田熊さん、宇治・城陽の相川さん、堺の寺島さん、寺本さん、富田林の藤井さん、福原さん、KLEG 理事の染川さん、奈良の中西さんと竹森です。私は初めてワン・ワールド・フェスティバルに参加しました。40年ぐらい前の学生時代の大学祭の説明会のような雰囲気を感じました。人に説明するの久しぶりでした。

4.2 日本大会

- ・日時：2023年10月21日、22日
- ・場所：拠点会場が川崎市総合自治会館、
詳細は本モバードか JEI の HP を参照下さい。

4.3 第71回関西大会

- ・日時：2023年6月6日(土)、7日(日)
- ・場所：姫路市イーグレひめじ
- ・姫路市での開催です。6月6日(土)午前中に大会前遠足として姫路城見学が予定されています。(ガイド付き)
- ・参加申込、宜しくお願ひします。現時点で60名程度の参加者です。

4.4 その他

- ・万葉集
NHKの朝の連続テレビ小説「舞い上がれ」で出てきた狭野弟上娘子(さののおとがみをとめ)の歌は、万葉集の巻15の第3724首の歌で、中臣朝臣宅守(なかとみのあそんやかもり)と狭野弟上娘子(さののおとがみをとめ)との贈答歌の中のひとつです。有名な歌のようで、エスペラントにも訳されています。

君が行く 道の長手を 繰り畳(たた)ね 焼き滅ぼさむ 天の火もがも

Al ni descendu bruligi fajr' ĉiela fi longan vojon
por ke l' amat' ne iru al la vojaĝ' forpela.

(MIYAMOTO Masao, skiza historio de la Utao)

万葉集巻十五の目録には、「中臣朝臣宅守が、蔵部(くらべ)の女嬬(じょじゅ:女官)である狭野弟上娘子を娶(めと)りし時に、中臣朝臣宅守が流罪となって、越前国(現在の福井県)に送られ、このとき、夫婦が別れ別れになってもう逢えないことを嘆いて、二人がそれぞれの悲しみの心を表して、贈り答える歌」とあります。

佐々木良さんの「愛するより愛されたい」の中ではこんな風に訳されています。

(万葉集を奈良弁で訳したもの、思わず買ってしまいました。)

あんたがどっか行こうもんなら
道という道をぜーんぶ かきあつめて
火つけて焼き滅ぼしたるからな!

・映画 「望郷の星 長谷川テルの青春」 を見て

本日 4/26、中西さんが上記映画を鑑賞されました。感想書いてもらいました。

最初は、中国から遺児お二人が、母の軌跡を訪ねるため来日するドキュメンタリーのような形で始まり、最後は、旅を終えて、兄妹が、それぞれの働いている町へと「再見」の言葉を交わし、笑顔で別れるシーンで終わりました。

その間に、栗原小巻さんの演じるテルさんの人生、奈良高等女子師範時代→治安維持法下での退学→東京でエスペラント活動を通じての劉仁との出会いと結婚→中国渡航(以後、日本の土を踏まず)→日中関係悪化、さらに開戦の中、各地転々→その中での出産、子育て、そして、日本兵さんたちに向けた反戦放送→第二次世界大戦は終結するものの、中国は、国民党・共産党の内戦→その中での死去(感染症)が挟まれています。つくづく、戦争とは何とむごいものか、誰をも幸せにしないことが胸に迫り、テルさんの訴える、中国人、日本人どちらの命も大事、殺し合いは止めようと言う訴えの真っ当さを、なおのこと、ハッキリ知ることとなりました。

当然ながら、辛いシーンも多かったですけど、その中で、劉仁テル夫婦の労わり励まし合い、いとし子への思い、テルと中国の方々との交流など、心温まる場面に、救われる思いがしました。反戦放送の所は、言葉も内容も明確、テルさん(小巻さん)に表情がとても美しかったです。日本語、中国語、エスペラントの三つの言葉が使われていました。夫婦がエスペラントで会話している個所は、聞き取れる所があり、実力は伴っていませんが、エスペランティストとして鑑賞できて、嬉しかったです。最後に、中国の場合、日本の敗戦・撤退後も、内戦がこんなにも悲惨だったのですね。朝鮮戦争は、実は今も終わっていないとか、これが日本だったら思うと、想像を絶しました。とにかく、武力行使で解決?! しようと言う、戦争の仕組みそのものを、廃絶しなければ。いまさらながら、戦争放棄の憲法第九条の尊さを感じています、お花畑と揶揄されようとも。